

# 1月号

令和8年1月1日発行  
編集責任者 宮原祐子

# アトオス通信

1月の花ことば

ムスカリ  
通じ合う心  
明るい未来



こんにちは！株式会社のぐちです！1月です。お正月はのんびりできましたか？今年のお正月は「初日の出を見る会」から始まりました。BUT！残念なことにちょっと雲が懸かってしまい「ダイヤモンド筑波」とはいきませんでしたが、雲の切れ間から見る日の出もなかなか美しいものでした。帰り掛けに仲間の一人から「皆でお茶でもいかがですか」とお誘いをいただき、総勢7名で押しかけました。なんとそのお宅には「薪ストーブ」があり、俗世間から離れた優雅な空間が広がっていました。すっかりリラックスして早朝新年会の開催となり、素敵な年の始まりとなりました。ぽかぽか暖かかったり、雪が降ったりと楽しい一年になりそうです。  
それでは皆さま今月も明るく元気に宜しくお願い致しま～す。

株式会社



## I 月の歳時記

## 「どんど焼き」

「どんど焼き」とは松の内まで飾っておいた正月飾りをお焚き上げする行事のことです。1月15日の「小正月」に行われます。起源は定かではありませんが、平安時代に宮中で行われていた「左義長（さぎちょう）」という行事に由来するといわれています。左義長はお正月遊びで用いる祓杖（ぎっちょう）という木製の杖3本を陰陽師が焼き、その年の吉兆を占った火祭りだそうです。どんど焼きの語源は、火を燃やすときに「尊と（とうと）尊と（とうと）とはやし立てていたものがなまつた」という説や、火がどんどん燃える様子から名付けられたという説などがあります。火が燃えるイメージからきているのですね。どんど焼きには「お正月飾りを目印に家に来てくださった年神様を、正月飾りを燃やした煙とともに見送る」という意味があります。

どんど焼きでは正月飾りのほかにも、お守りや熨斗、だるまなども燃やします。書初めを燃やした火が高く上がると「賢くなる」「字が上手くなる」という言い伝えもあります。また、餅や団子を焼いて食べたり、燃やした灰を自宅の庭などにまくと無病息災や家内安全などのご利益があるといわれています。どんど焼きは古くから地域の方の交流の場所としても活用されています。機会があったら出かけてみたいものですね。

「では皆さま、今月も元気よく笑顔で伺いますので、笑顔でむかえて下さいね。

会社だってそうです。  
会社も数々の苦難を乗り越  
え、経験し成長します。  
是非これから、「株式会社の  
ぐわ」「」に期待ください！  
営業 本橋でした

# これいいじゃん

## 便利グッズ研究会からのお知らせ

私たち「便利グッズ研究会」では独断と偏見で選び抜いた便利グッズを皆様にご紹介することを生きがいとしております。ハイ！今回ご紹介するのは、

「折らないカッター オランテ」

折り目のない刃を備えた全く新しいカッターナイフ。3つの工夫で折らなくても切れ味が長持ちの優れ物。その①ステンレスで鏽に強い！その②凹凸表面加工＆全面フッ素コート！その③大型カッターと同じ0.5mmの厚刃！段ボールも安定してカット。荷物の開墾や手紙の開封、ビニールだって切れちゃいます。ホルダーに入った新方式の替刃なので、刃先に一切触れずに簡単に交換・廃棄することができます。チャイルドロックでスライダーとキャップの動きを固定。保管時も安心です。今までにない指かけリング形状で様々な握りに対応できます。ストラップも掛けられます。カラーは5色。「カッターの刃、折るのが怖~い」人でも、カワイイ！安全！長持ち！で「これいいじゃん」ってわけ。ぜひ皆さんも試してみて下さいね。



小売希望価格 570 円（税別）

新年あけましておめでとうございます。  
新しい年のい挨拶を担当いたしました。  
さて皆様には、救われた言葉。  
救われた経験。しゃべらせて  
しょうか?

「苦難福門」私はこの言葉に  
何度も救われたか知れません。  
生きていればいつだって、大  
なり小なり苦難はあります。  
苦難を乗り越えた時、その経  
験が力になり成長する。幸福  
への道が開ける。

-スタッフ登場